

かえで通信

発行人
大竹大輔を育てる会
伏見 幸久

ご挨拶

台風等でお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

朝晩はとても涼しくなってきました。秋の深まりを感じる今日このごろです。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。寒暖差が大きい毎日です。風邪などお召しにならないようご自愛ください。

さて、30日間の会期にて行われた令和元年第3回各務原市議会定例会（9月議会）は、全ての案件が議了し無事終えることができました。また、一般質問では、多くの皆さまに傍聴の席にお越しいただき、心から感謝申し上げます。

今回の一般質問では、防災の観点、子ども福祉の観点、高齢福祉の観点から質問させていただきましたが、特に防災の観点から質問させていただいたハザードマップの重要性については、先日、発生した台風15号、19号、21号での災害にて再認識させられました。

昨今、観測史上を塗り替える局地的豪雨など想定外の自然災害が発生しております。昨年の台風21号では、各務原市も倒木や停電、浸水など多くの被害が発生しており、防災、減災に対する最新の情報を把握するとともに、更なる地域の絆を強固なものにする取り組みが大切であると考えます。

秋は、神事、お祭り、市民運動会など、地域イベントが多い季節です。これらの催しは、楽しく地域の絆を深めるとしても良い機会であると思っておりますので、ご多用な毎日かと思っておりますが、是非、各行事に足をお運びいただきたいと思います。

今後も「いつまでも住み続けたいまち、かかみがはら！」の実現に向け邁進して参ります！

各務原市議会議員 大竹 大輔

9月議会のチェックポイント！

・8月29日から9月27日までの30日間の会期にて開催された令和元年第3回定例会（9月議会）は、市長より33件の議案と4件の市議提案が上程され、市議第3号を除く議案が認定、可決されました。

平成30年度の総括となる一般会計他5つの特別会計の決算の他、調整区域における開発行為についてなど、全て、私たちの生活に直結した議案であり慎重に審査いたしました。

一般質問では、合葬墓について、土砂災害ハザードマップについて、離婚に伴う子の福祉について、フレイル予防について、大きく4項目質問させていただきました。今回は、土砂災害ハザードマップと、フレイル予防の質問について紹介させていただきます。

各務原市の土砂災害(特別)警戒区域について

問) 各務原市の土砂災害警戒区域の状況はどのようになっているか？松が丘北面にある愛宕山は治山工事を行っているが、土砂災害ハザードマップにどのように反映されているか問う。

答) 土砂災害警戒区域は171か所、土砂災害特別警戒区域は149か所が県により指定されている。松が丘地区の治山工事の結果は、平成30年10月23日に岐阜県の告示により「八木山谷4」と呼ばれる溪流については、土砂災害特別警戒区域から土砂災害警戒区域に指定が変更された。（いわゆるレッドゾーンからイエローゾーンに変更）この指定の変更に伴い、市が公開している土砂災害ハザードマップについての修正が必要となっているが、市のホームページに掲載している土砂災害ハザードマップについては、**今年度中に該当箇所のデータ修正を行い変更する。**

また、土砂災害ハザードマップを掲載している防災ハンドブックについては、令和2年度に見直しを行う計画があり、合わせて更新を行う。（答弁：市長公室 参与 防災対策課）

フレイル予防について

問) 次年度、本市にて予定しているフレイル予防事業について、本年度は検討委員会が立ち上がり協議されているが、委員会の進捗はどのようになっているか？また、次年度はどのようなフレイル予防事業を行うのか問う。